
Structure about "World of Chaos"; ~

喜劇作家

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Structure about World of Chaos

【Nコード】

N9544G

【作者名】

喜劇作家

【あらすじ】

私のシリーズ（予定）小説「WOC」の様々な設定集です。小説を読む上での参考にしてください。

Compi：“WOC”

はい、皆さん注目。

初めまして、喜劇作家です。

始めました、設定集です。

アーク

「何の設定集よ？」

うん、実はね、君の作品も含めたシリーズ物である“Story
on” World of Chaos”” に関する色々なこと
を、ここでまとめていこう、と思うわけだ。

ミント

「そもそも”World of Chaos”って何なんです？」

そう、先ずはそこから説明しないといけないよね。

一応は一作目の中でも語ろうとは思ってるんだけどね。

ウエニー

「敢えて、先んじて説明するってことかい？」

That's right.

まあ、語れること自体少ないけどね。

では、ゴホンッ！

まず、この”World of Chaos”というのは、一作目
のタイトルにもある“混界”^{こんかい}を指します。

混界とは、所謂『並行（平行）世界』のことで、多くの世界が他の

世界の干渉を受けずに存在し得る空間なのです。
まあ例えば、アークの世界とは違う次元に、私達の世界がある、とかね。

三人

「なるほど。」

『パラレルワールド』とも言っただけど、この世界に特徴付けされたことは二つ。

一つは、同じような言語を使うこと。

混界に存在する世界では、言語の発展の仕方がそれぞれ異なるんだけど、どの世界でも喋ってる言葉は同じなんだ。

アーク

「む、よく解らんぞ。」

つまりだ、君の世界とは違う世界の人と話をしても『何語を話しているのか分からないヨ!』って状況にはならないわけ。

異世界モノの王道パターンだよ。

もう一つは『同一存在』のこと。

三人

「同一存在?」

自分のいる世界と別の世界にも、『自分と同じ存在の人物』がいるっていうこと。並行世界では、あって然るべき要素の一つでもあるんだ。

ミント

「じゃあ、私たちとは別の世界にも、私たちがいるんですか？」

ウエニー

「なんか気味が悪いねえ…。」

大丈夫。ドツペルゲンガーと違うから、遭っても死なない。

まあ、アークと“もう一人”はちよつと設定が違うから、同一存在の定義には当てはまらないんだけど。

三人

「“もう一人”？」

追々出していくから待つといてください。基本的にアークが主人公の時はそこが主軸になります。

ウエニー

「あれ？つてことは、アーク以外が主人公の作品もつくるつもりかい？」

ぼちぼち、とね。

プロットはないけど、アイディアはある。1stが佳境に入ったら書き始めようと思います。

アーク

「さよか〜。んじゃ、今回はこの辺で終いかな？」

うい。

長い付き合いになると思うけど、宜しく三人衆。そして、読者様

（ m ）

三人

「宜しく願います！」

では、この辺で。

またのご来場、お待ちしております！

Compi: "WOC" (後書き)

次回は 四聖 について述べさせていただきます。

気軽に、気長に、読んでください。

喜劇作家でした。

Comp・2： 四聖伝説 (前書き)

今回は 四聖 について語ります。

アーク

「童話っぽいのはなんで？」

この世界の人は、オトナもコドモもオネーサンも、こついつ話を聞いているんだよ、って感じにするため。

アーク

「ほお〜。」

まあ、とりあえず本文読んでみてください！

昔むかし、この世界には“生者の国”と“死者の国”がありました。

生者の国では、私たちヒトや動物たち、目には映らないけれど、木々や草花を育ててくれる精霊たちが仲良く暮らしていました。

彼らの命は、終わりの刻を迎えると、死者の国で再び生活を始めます。そして、次はどんな風に生者の国で暮らすのか、それが決まる時を待つのです。

しかし、そんな死者の国で、あるはずの無い事が起こりました。

“さんじく惨獄の王”を名乗る者が、なんとマグマの中から生まれたのです。その者は、人外の力で死者の魂を操り、生者の国を襲い始めました。

あまりにも強大な王の力に、生者の国の戦士たちは太刀打ち出来ませんでした。

しかしその時、四人の戦士が彼らの為に立ち上がりました。

一人は、諸刃の長剣を手に自然の力を味方にした青年。

一人は、類い稀な身体能力と空の神の力に目覚めた少女。

一人は、紅き銃と紅く燃ゆる焔を纏う男。

一人は、水生の亜人で海の恵みを力とする女。

彼ら四人は、王に操られし死者の魂たちを元へ返し、ついに王を“世界の狭間^{はざま}”へ封印してしまいました。

彼らは、たった四人で世界の脅威を封じ込めました。

それからは、とても平和な世界となっていきました。

世界を救った四人の戦士は、いつしか 四聖 と呼ばれるように

なりました。

彼らは今も、私たちの世界を見守ってくれているのです。

〔歴史学者の見解〕

この 四聖伝説 は、およそ六千年前に起きた実際の出来事である。その事を証明する史料は多く、どれも事細かに描かれている。しかし、史料にも僅かしか書かれていない、不確定な事象がある。当時の人が書いたと考えられる一通の手紙に、次のような事が書かれてある。

「四人の戦士たちの側には、いつも“天使”と“竜姫”の姿があった。」

と……。

我々はこれからも、 四聖伝説 の研究を進めていきたい。

Comp・2： 四聖伝説 (後書き)

以上が 四聖伝説 物語です。

リトル

「最後の話はオレ達みたいに、ごく一部の研究者や政府関係者しか知らない事実ツスね。確証がない為に、一般公開はされてないツス。」

アーク

「あれ、いたの？ちっちゃいから見えなかった。」

リトル

「…死にたいんすか？」

どうどう。

四聖の戦士たちの物語は、いずれ書くかもしれませんが。連載で期待しないで待っててください。

では、長くなりましたが、また次回ノシ喜劇作家でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9544g/>

~ Structure about "World of Chaos" ~

2010年10月11日17時44分発行